

年間報告書

To create "Good Change" for the future of Japan.

2022



Highlights of the year

念願の現地入りから
アクション実行に向けての挑戦！
社会人向け研修拡大中！
民泊本格再開へ！
祝！新拠点誕生！いわてまちユースセンター
チェンジメイカーズカレッジ、国際連携！
SET掲載書籍4冊刊行！
ほか

デザイン/イラスト
渡邊奈緒 宮内航

編集部
荷川取佑太 小林夏菜 水口拓未

監修
三井俊介

Special Thanks
上田彩果 Trine Villemoes 山本晃平
小林敬志 廣瀬太陽 有田麻梨奈
吉原直矢 渡邊拓也 上村徹雄

代表挨拶

三井俊介

特定非営利活動法人 SET 理事長
 特定非営利活動法人 高田暮舎 理事
 特定非営利活動法人 新公益連盟
 北海道・東北ブロック共同代表
 宮城大学 非常勤講師
 一般社団法人
 幸せなコミュニティとつながり実践研究所 理事
 元陸前高田市議会議員 (2015年9月~2019年9月)
 地域政党とうほく未来創生副代表
 2011年4月6日、陸前高田市への
 初めての現地入りの時、広田町と出会う。



より多くの皆様、企業様との連帯による社会創造に向けて

今年もコロナの影響を色濃く受けた1年でした。また世界を見渡せば信じられないような戦争が起き、世界的企業の大規模なリストラが起きるなど非常に混迷しています。SETではコロナになってからも、「僕らには希望がある」という強い思いのもと事業を推進してきました。その結果、このコロナ禍にあって、活動領域を広げ、行政の皆さんとの連携を増やし、雇用を増やし、過去最高の売上を記録することができました。

これはひとえに支えてくださる皆様のおかげと、そして共により良い社会、そして生き方を模索し続けてくれている仲間のおかげだと思っています。2022年度はより多くの個人の皆様のお力を貸していただけるような体制を整えていくことと、より多くの企業様と連携を増やすことで社会的な価値をより提供できる組織体に進化していくことを目指して活動を推進していきたいと思っています。社会は混迷していますが、SETは「希望と勇気」を持って進んでいきたいと思ひます。ぜひ皆様と一緒に。

団体紹介



~NPO法人SETとは~

■Mission(どんな社会を夢見るか)

一人一人の「やりたい」を「できた」に変え、日本の未来に対して「Good」な「Change」が起きている社会を創る

■Vision(そのためにSETは何をするか)

人口が減るからこそ豊かになる
 ひとづくり、まちづくり、社会づくり

■SETの沿革

2011年3月11日 東日本大震災発生
 2011年3月13日 被災地支援のため任意団体『SET』設立
 2013年6月18日 任意団体から「特定非営利活動法人SET」へ
 2020年 新型コロナウイルス発生でサポーター制度を開始
 岩手町で中高生向けキャリア教育事業を開始
 2021年 葛巻町でChange Maker Study Program事業を開始
 ~現在 広田町、陸前高田市全域、岩手県各地で活動
 ※活動実績などはNPO法人SET HPを参照

■受賞歴

◇令和元年度あしたのまち・くらしづくり活動賞
 内閣総理大臣賞受賞 (2019)
 ◇第13回 マニフェスト大賞
 最優秀シティズンシップ推進賞受賞 (2018)

■メディア掲載

◇新聞
 東海新報、河北新報、岩手日日、岩手日報、読売新聞 など
 ◇テレビ
 NHK総合、NHK Eテレ、日本テレビ、岩手朝日テレビ など
 ◇雑誌
 TURNS『人と地域が共に成長するコミュニティ』(第一プログレス2020.12)
 ソトコト (RR 2018) など
 ◇書籍掲載
 「政策起業家が社会を変える:ソーシャルイノベーションの新たな担い手」(2022 M.ミントロム著 石田祐 三井俊介訳)
 「フォルケホイスコーレのすすめ:デンマークの「大人の学校」に学ぶ」(2022 矢野拓洋 岡田勝太他)
 「ウェルビーイング」(2022 前野隆司・前野マドカ著)

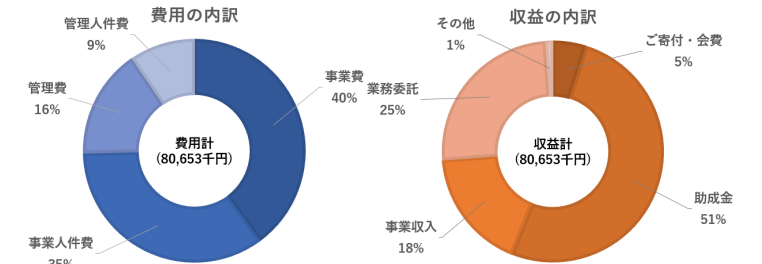
収支報告

2021年9月1日から2022年8月31日まで

(単位:円)

科目	金額
1. 受取会費	正会員受取会費 受取会費 1,415,203
2. 受取寄附金	2,376,152
3. 受取助成金等	受取民間助成金 40,227,072
4. 事業収益	売上高 11,098,159
	家賃収入 1,973,833
	その他収入 840,172
	業務委託収入 19,703,295
5. その他収益	雑収入 受取利息 905,676
経常収益計	78,539,562
1. 事業費	(1)人件費 28,010,286
	(2)その他経費 32,185,354
	事業費計 60,195,640
2. 管理費	(1)人件費 7,678,875
	(2)その他経費 12,779,408
	管理費計 20,458,283
経常費用計	80,653,923
当期経常増減額	-2,114,361
固定資産売却損	192,877
経常外費用計	192,877
税引前当期正味財産増減額	-2,307,238
法人税、住民税及び事業税	132,000
当期正味財産増減額	-2,439,238
前期繰越正味財産額	-335,527
次期繰越正味財産額	-2,774,765

収支報告レビュー



◆収益の内訳

2021年度はコロナ禍により既存事業の収入が激減し苦しんだものの、休眠預金や観光庁に関する大型の助成金に加え、岩手県4自治体、国内企業2社、さらにデンマークの教育機関など、幅広い連携を通じて業務委託収入が増加しました。結果、経常収益は78,539千円となり前年比約173%と大きく事業規模が拡大しました。

◆費用の内訳

一方で、「コミュニティビジネス」のような地域に根ざす新規事業の開発や新拠点となる「いわてまちユースセンター(仮)」の開設など未来への投資を行ったため、経常費用は80,653千円(前年比約139%)となり、次期繰越正味財産額はマイナスとなりました。

こうした中、ご寄付・会費は3,791千円(前年比284%)となり、皆様のご支援が活動の支えとなっております。素晴らしい日本の未来に向けて長く険しい道のりとなりますが、今後も地域活性化を通して貢献していきます。どうぞ、温かく見守っていただけますと幸いです。

今年度理事紹介



岡田 勝太
 副理事長

暮らし部 部長
 Change Makers' College チーム長/コミュニティビジネスチーム長
 一般社団法人アイビーナ 理事
 陸前高田市子ども・子育て会議委員



吉田 勇佑
 理事

株式会社CRAZY 執行役員



大橋 衛
 理事

デコボコベース株式会社
 ディーキャリアITエキスパートマネージャー
 (障害者支援)



石渡 博之
 理事

交流部 部長



薄井 大地
 理事/事務局長

ソーシャルアクションカンパニー株式会社 (actcoin)
 取締役COO
 認定NPO法人e-Education 理事
 情報経営イノベーション専門職大学 客員教員



呉 哲煥
 理事

NPO法人CRファクトリー 代表理事
 一般社団法人幸せなコミュニティとつながり実践研究所
 共同代表



加藤 遼
 理事

NIDEAS FOR GOOD Business Design Lab. 所長
 NPOサポートセンター 理事
 総務省 地域情報化アドバイザー 東北大学 特任教授(客員)

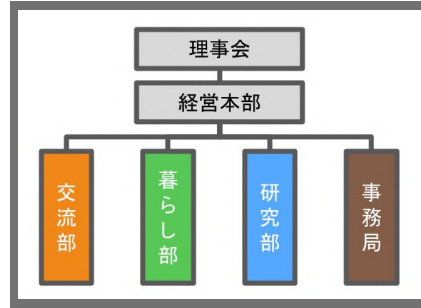


理事のお仕事

・年4回の理事会を開催
 ・各理事に担当チームを設けて、2か月に一度1時間の理事セッション
 ・理事セッションは、SETメンバーであれば誰でも参加可能
 ・メンバーと理事が一丸となって進めていく体制を作っています。

活動報告

- 交流部
- 暮らし部
- 研究部
- 事務局



SETの組織図

SETは、理事会、経営本部の下に4つの事業部に分かれて事業を推進しています。また、各事業部内には通年で活動をする「チーム」（大規模）、「ユニット」（中規模）と期間限定で行われる「プロジェクト」が配置され、専門性を活かした活動を行っています。

中高生向けキャリア教育チーム



『祝！新拠点誕生！ いわてまちユースセンター』

岩手町での活動も3年目。ついに新たな拠点が誕生しました！中高生が自分らしくいられる第三の居場所ユースセンター！9月にはプレオープンイベントを実施し、多くの地域の皆さんに祝福していただきました！現在は、3月のグランドオープンに向けて活動中です。また、中高生向けのイベントや高校の「総合的な探究の時間」の授業も企画実施しています！



ChangeMakers' Collegeチーム



『国際連携に力を入れた一年！』

今年度から新たに「Pedagogコース」も加わり進化したCMCでは、広田で10名の学生を迎えました。デンマークから4名の学生を迎えて参加学生と交流を深めたり、デンマークで開催されたTeacher Summitに参加し、11カ国の参加者と、グローバル教育、持続可能な教育などについて議論しました。また、9月には「Japan Hojskole Day 2022」に参加し、3日間広田町のキャンパスを開放して、サステナビリティに関するワークショップを行いました。



コミュニティビジネスチーム



『コミュニティビジネス の世界観を深め広げる。』

チームが誕生してから1年半が経ち、チームとして大切にしたい取り組みが定まってきました。私たち一人一人が伝えたい世界観をみなさんに体感していただくために、地元企業主催のイベントへの出店、公民館や町の公共施設を活用したマルシェ、「コミュニティcafe彩葉」でのランチ提供、ワークショップ、地元食材を活用した商品開発などを実施し、多様な体感機会を生み出すことができました！



民泊チーム



『民泊本格再開へ！』

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大以来、県外からの受入を見送っていた陸前高田民泊ですが、この度受入を本格的に再開しました。無事に134名の参加者が陸前高田の民泊家庭と交流することができました。受入家庭さんからは、『勇気を持って久しぶりの民泊を受け入れてみたら楽しかった、人が来ることは町が賑やかになっていいね。』という声をいただきました！

企業-行政職員向け研修ユニット



『社会人向け研修拡大中！』

「行政職員研修」として3自治体から4組が広田町に来て4～5日間の研修を行いました。研修期間に実施したアクションは各自治体に持ち帰り、事後アクションとして企画を進めています。「企業研修」は、2組実施しました。「1日1日新しい出会いや感情があって、ここまで気持ち動かされる研修は初めて。来てよかったと素直に思う。」という声をいただきました。



大学生向けユニット



『念願の現地入りから アクション実行に向けての挑戦！』

コロナ以降叶わなかった、念願の学生現地入りを行いました！地域の方との温かな交流や大自然との関わりから、地域への愛着と貢献意欲が増えています。現在、地域の方と関東の大学生だからこそこのアクション実行に向けて、地域の方との交流と対話を重ねています！



研究部



『SET掲載書籍 4冊刊行』

今年度は、SETの活動事例を『ウェルビーイング』『ソーシャル・イノベーションの理論と実践』『フォルケホイスコーレのすすめ』『政策起業家が社会を変える』の計4冊に掲載していただきました。書籍にまとめることで、自分たちの活動をより多くの方に知ってもらうことができ、様々な反響をいただくことができました。

コミュニティマネジメントチーム



『ハイブリッド型SET DAYを開催！』

2022年6月に、約2年ぶりに対面会場を設置してオンラインとの同時開催でSET DAYを実施しました。SETメンバー53名が出席し、事業の現状を共有して今後のSETの活動やコミュニティへの期待を描きました。仲間と想いを共有でき、SETの熱を体感できる素敵な場となりました。



広報ファンドレイズチーム



『マンスリーサポーター70名突破！ 寄付企業とのコラボ企画も実施！』

2021年7月から開始したマンスリーサポーター制度が、11月時点で71名となりました！2022年3月には、クラウドファンディングを実施し、100万円を超える寄付をいただくことができました。また、同年11月には、寄付企業様とのコラボ企画を岩手町、広田町の2拠点で実施し、寄付が持つ多様な可能性を感じることができました。



デンマーク

～活動成果～
7つの地域で
33団体と連携し
193名のSETメンバーと
658名の参加者と
2031名の町の方と
共に活動することができました！

雫石町

岩手町移住者
6名

一戸町

葛巻町

野田村

陸前高田市移住者
26名

陸前高田市

SETが作り出した ソーシャルインパクト

若者の自己肯定感の向上

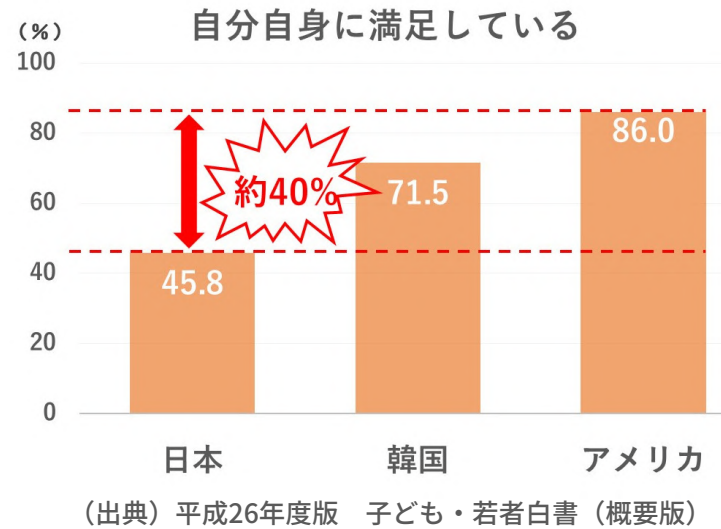
アンケート項目の詳細
より詳しい考察

報告書の詳細はこちらから



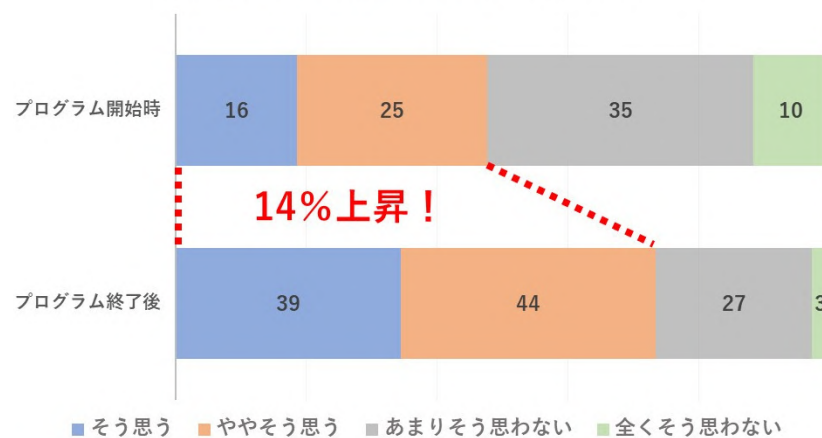
日本の若者特有の課題にアプローチ

自分自身をどのように評価し、どれほどポジティブな姿勢に立って見ているのかについての自己評価です。日本の若者は、諸外国の若者と比べて自分を肯定的に評価している人の割合が低い傾向にあります。



SETでの取り組み事例

私は全体的に自分にだいたい満足している



2021年度のCMSPといわぶろ（中高生キャリア教育プログラム）の大学生スタッフの自己肯定感を測定したところ、プログラム開始前後で自己肯定感が14%上昇していることが分かりました。



なぜ自己肯定感が向上したのか？

日本の若者の自己肯定感の低さは、自分は役に立たないと感じる自己有用感の低さが関わっています。共同研究を実施していただいた上智大学の川西諭教授によると、「SETでの活動を通して人やチームの役に立つ実感が得られたことで自己有用感が上昇し、それとともに自己肯定感も上昇した。」と考えられます。



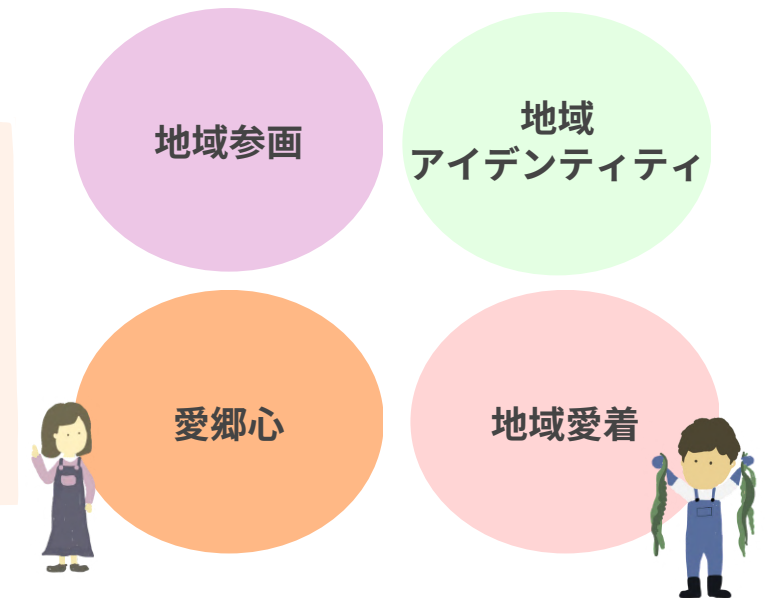
シビックプライドの向上

シビックプライドとは？

シビックプライドは「都市に対する市民の誇り」と定義されています。「自分自身が関わって地域をよくしていこうとする、当事者意識に基づく自負心」が含まれる概念で、様々な地方自治体で注目されている指標です。

シビックプライドの4要素

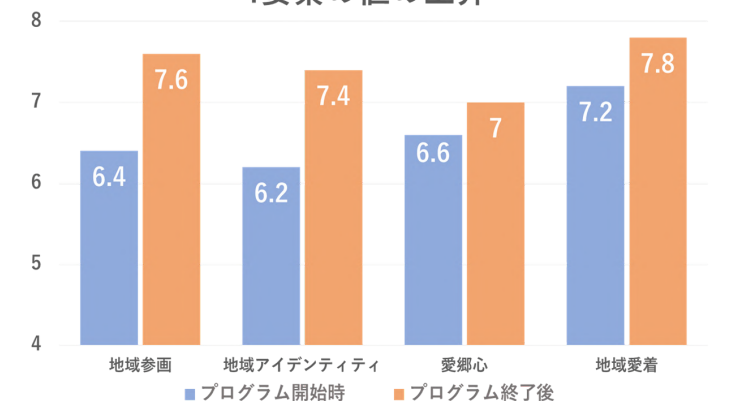
SETでは、「地域参画」「地域アイデンティティ（関係人口アイデンティティ）」「忠誠的愛郷心」「地域愛着」の4つの要素からなる19項目の質問によって活動地域におけるプライドを測定する取り組みをしています。



なぜシビックプライドが向上したのか？

2021年度のCMSPといわぶろの大学生スタッフを対象にアンケート調査を実施したところ、4要素でシビックプライドの向上が見られました。シビックプライドが高まった要因としては、地域を訪れ、仲間や地域の人との思い出ができることや、自分たちの活動への反応が直接返ってくることが関連していると考えられます。

4要素の値の上昇



まとめ

今回の調査結果をもとに言えることは、SETの活動は、日本全体の課題である若者の自己肯定感の向上に寄与するとともに、地方衰退の課題を解決したいと思う人材の育成を行なっているということがわかりました。SETでは今後も若者と地方をつなげることで、問題の同時解決に貢献していきたいと思えます！

アンケート項目の詳細
より詳しい考察

報告書の詳細はこちらから



SETの状態

コミュニティ・組織に対するメンバーの意識や個人のwell-beingなどを様々な角度から調査することによってSETの状態を数値化し、より良い組織づくり・事業づくりに役立てることを目的に様々な調査を実施しました。ここでは、その中の二つの調査結果をお伝えします。

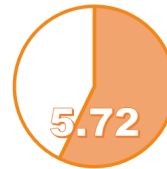
コミュニティキャピタル診断

SETでは、毎年一回コミュニティの健康診断としてNPO法人CRファクトリーが開発した「コミュニティキャピタル診断」を実施しています。コミュニティキャピタルとは、団体の中にある目に見えない資産を可視化したものであり、「理念共感と貢献意欲」「居心地の良さ」「自己有用感」の3要素で定義されます。今回は、そんな診断結果を見ていながら、SETメンバーにはどんな人が集まっているのかをご紹介します。

理念共感と貢献意欲 居心地の良さ



自己有用感



全体平均 (123団体)	平均スコア
理念共感と貢献意欲	7.81
居心地の良さ	7.46
自己有用感	5.52

123団体のコミュニティ作りに関心がある団体の中で、全項目で平均以上の高い数値を記録することができています。これは、コミュニティマネジメントチームの施策による効果が大いだと思います。理念に強く共感したメンバーが、自分自身のやりたいことを自由に発信し、事業とつなげていくことを目的としたSETタレント名鑑。入って間もないメンバーも含め居心地の良さを感じてもらうための様々なコミュニティ企画を実施することで、モチベーションを高く保ちながら活動することができています。

調査の詳細はこちらから



SETに関わる若者たちの声



CMC卒業生
Bjartur(ビヤストゥー) さま

コメントを寄せる機会をもらえて光栄です。「旅は、心を豊かにする稀有なものの一つです。」帰国してからは、日本的な価値観を日々の生活に取り入れるようになり、人生観が広がりました。私は、いつでもSETの未来を想うパートナーです。もし助けを必要とするなら、どんなに小さくてもその一部になりたいと思います。



CMP参加者
塚田大登 さま

プログラムに参加する以前は自分がやりたいことも、周りの目を気にしてできずにいました。しかしスタッフの皆さんの優しさや居心地がいい雰囲気がのおかげで自分の「やりたい」「なりたい」を大切にでき、毎日楽しく生きられるようになりました！



いわぶろ運営メンバー (大学生)
川島 レラ

目の前の高校生の「やりたい」をサポートする内に、高校生の目が輝き、地域の方が応援してくれ、岩手町が少し輝き始めたことを実感しました。いつか自分の「やりたい」も湧き出た、そんな一年でした！



いわぶろ卒業生
岩崎尚旺 さま

初めは自分の経験のためにと始めた活動でしたが、次第に周囲の人や地域のためになっていることに気づきました。いわぶろの活動を通して多くの関わりや繋がりを作ることができました。



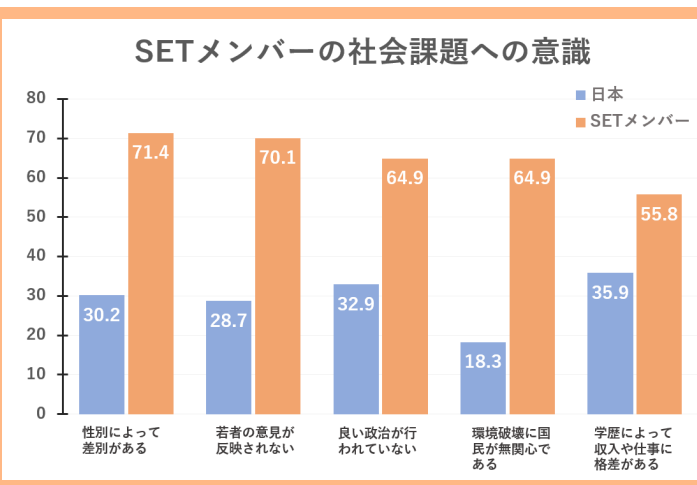
SET大学生メンバー
菅野 睦子

SETは私にとって、幸せを感じることがたくさんある場所です。町の方やSETのメンバーなど、一人ひとりの考えや価値観を共有しあいながら、共に今を歩み、未来を描いていく過程に幸せだなと感じる1年でした。

SET全体調査 (研究部独自取得)

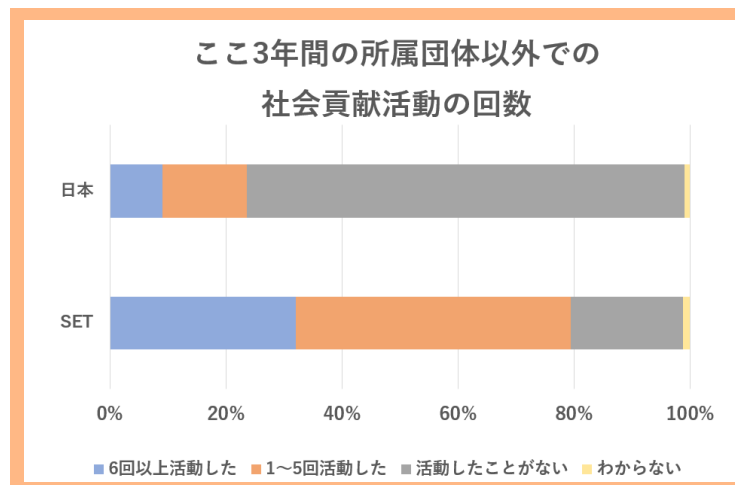
研究部が独自に作成したSETメンバー向けのアンケートを実施。社会貢献への意欲や、幸福度の調査など様々な指標を測定しました。今回は、社会貢献に関する、メンバーの価値観を可視化して皆様へお見せします。

SETメンバーが感じている社会課題



参照：令和元年版 子供・若者白書 (内閣府)

SETメンバーの社会貢献活動回数



参照：平成30年度 NPO法人に関する世論調査 (内閣府)

左のデータを見ると、SETメンバーの社会課題への意識は日本の平均値と比較して、非常に高いことがわかります。これは、多様な価値観を持つメンバーが、課題先進地域である地方で活動する中で感じたことを自由に表現することで、お互いの関心を持った社会課題が共有され、理解を深められていることが要因と考えられます。また、右のデータからは、団体外の社会貢献活動への参加回数も日本の平均値と比較して高くなっていることから、考えを持つだけでなく、行動にまで移すことができるメンバーが多く所属していることがわかります。



SETメンバーは社会課題への意識が高く
活動を通して、より社会に貢献する人材になっている！

連携事例紹介

今年度連携した多種多様な企業/団体様との事例をまとめました。
多様な価値観と出会うことができる連携事業ですが、今年度も多くの学びがありました。

株式会社パーソルホールディングス様 社員研修



◆プログラムについて
パーソルホールディングス株式会社様と社員のキャリア自立を目指した2泊3日の研修を広田町で行いました。統括人事の樋浦様の想いを形にできるよう努めました。

樋浦様には、研修前に実際に広田町にて研修当日をよりリアルにイメージしつつ打ち合わせを進めました。当日は8名の方が研修に参加してくださり、2泊3日の研修を行いました。「今、この瞬間を、あなたはどうか生きるか」というテーマで実施されたこの研修では、日常の中では考えられない自分にとっての人生やキャリアを、広田町の震災体験やそこから立ち上がってきた強さに触れながら、大いに深め、対話していただきました。今後もそれぞれの企業様にとって、また、広田やSETにとってベストな研修を実施し続けていきたいと思っております。



パーソルホールディングス株式会社
グループ人事部 人材開発室
樋浦 武志 さま

◆SETとの事業連携に至る背景や想い
我々パーソルグループは「はたらいて、笑おう。」というVisionを掲げています。このVisionを社員一人ひとりが「当事者として実感」できる先進的でユニークな研修を探しているときにSETと出逢いました。

◆研修実施後の変化
心の鎧を脱ぐことで見つけた「本来の自分らしさ」「こうありたいと願える自分」を伝えられる、そんな自信を持てるようになったと思います。これから大切にしたい軸を立体的に見つめ直し、自己防衛している自分から解放されたように見えます。

ノーフェンスホイスコーレとの共同ワークショップ



・WorldCampNordfyn(WCN)
初のオフラインでのプログラム実施となった今回の共同授業では、デンマークとフェロー諸島から留学生4名を受け入れ、世界中の若者たちが、歴史、文化、政治、

感情を通じて、パートナーシップを構築しました。

・ピープルズフューチャーラボ (PFL)
実際にデンマークへ赴き、世界11カ国のフォークハイスクールの教師が学び合うTeachers Smitteに参加しました。各学校の視点や経験を共有することが目的で、グローバル教育、持続可能な教育、地域との関わり、アクションラーニングについて話し合いました。



ノーフェンスホイスコーレ
教師
Louise Sølling Mortensen さま

◆SETとの事業連携に至る背景や想い
私たちがプロジェクトを始めたとき、地域に根ざして活動する組織との連携は重要なことでした。人との出会いと生涯学習を重要視し、地域に貢献する組織であるSETとの連携は自然なことでした。

◆研修実施後の変化
デンマーク民俗高校創設者の哲学が非常によく表れたプログラムでした。学生たちも、このプロジェクトについて、大きな感謝と喜びを語っています。次年度の交流も楽しみにしています。

雫石町：2週間の関係人口創出プログラムのコーディネート



◆プログラムについて
CMP事業で培った、大学生向けの関係人口創出のノウハウを活用し、雫石町の2週間地域おこし協力隊インターンプログラムのコーディネーターを担当しました。

活動の目的として、「インターン終了後も地域のために活動したい意欲と主体的の両輪を併せ持つ人材の創出」を掲げました。現地では、町民との関係構築や打ち合わせを実施し、参加大学生向けには、事前事後研修を設けサポートします。事前研修では、参加メンバーの相互理解を深めつつ、活動内容を話し合います。事後研修では、活動を振り返り、互いを応援しあう時間を作りました。「まちづくりは、人づくりから」というコンセプトを11年続けてきた当法人だからこそお届けできる人材プログラムです。



雫石町
ご担当者 さま

◆SETとの事業連携に至る背景や想い
当町では、人口減少問題を重要課題と捉えています。首都圏とのパイプを持たない我々にとって、県外の若者の視点で町の魅力発掘をしてもらい、再び当町に訪れる新しい人の流れの創出につながるSETの活動は大変魅力的なものでした。

◆研修実施後の変化
2週間という短い活動期間でしたが、学生の楽しみながらも真剣な活動を見て、インタビューを受けた町民も新鮮な気持ちで楽しく交流できました。

関わり方紹介

SETの各種事業の特色を生かした、関わり方のご提案をさせていただきます。

行政の皆様へ

行政職員研修 人材育成 「SET流思考法」を搭載した実践型の人材育成研修を実施。町の事業を主体的に推進する人材育成を行います。	生涯学習拠点 Well-being フォルケホイスコーレをモデルにした学舎づくりのノウハウ提供、サスティナビリティ研修を行います。	中高生教育 探究学習支援 「総合的な探究の時間」に対応した授業の開発サポート、実働支援、及び社会教育プログラムの開発運営を行います。	研究/調査 住民向け地域研究調査 地域住民のアンケート調査、調査データの分析、報告書の作成などのサポートができます。
---	---	--	--

企業/団体の皆様へ

新しい働き方 ワーケーション/研修 自然の中にあるワーケーション施設の宿泊利用や、農業や漁業体験、1日カフェ店長体験もできます。	地域活性事業の協働開発 修学旅行民泊/関係人口 地域活性事業に取り組みたいとお考えの企業の方、ノウハウ提供と実施サポートを行います。	社員研修 社員研修/キャリア支援 参加職員様のキャリア自立やチームビルディングの促進、森のリトリートでの実践等を行っております。	コミュニティビジネス 協同イベント/代理販売 団体マルシェの協働開催、環境配慮商品を代理販売することができます。
--	--	--	--

個人の皆様へ

SETサービスの利用 広田町で暮らしを体験 cafe彩葉での一日店長、ぴいろたハウスでワーケーションなどSETのサービスを現地で体験！	 陸前高田市での民泊 ホテルに泊まるだけでは体験できない、地域の暮らしが感じられる民泊でぜひ広田にお越しください。	 イベントへの参加 SETが企画したマルシェ等のオンラインイベントや、オンラインにぜひご参加ください！	プロボノとして参画 広報PR、研究員etc... ご自身の得意分野を活かして、プロボノとして事業を直接サポートいただける方を募集しています。
---	--	--	--

お問い合わせはこちらまで
TEL/FAX : 0 1 9 2 - 4 7 - 5 7 4 7
Mail : set.forjapan@nposet.com

マンスリーサポーター募集中

- 01 月々500円~SETを応援できる！
- 02 サポーター限定の特典もご用意！

私たちの仲間になりませんか？
お申し込みはこちらから→



岩手町・経営者
中村 祐紀さん
若い方に向けた活動はより近い世代から働きかけるほうが共感が得られます。我々のまちに関わってくれたご縁。そして、まちに直接住みみとづくりをしながら継続的な活動を目指す姿勢に微力ながら応援しております。

東京・会社員
嶋原 香織さん
三井さんが震災直後に現地へ渡って以降、今もずっと活動を続けていることを心から尊敬し応援を続けています。現地で皆さんの活躍を目の当たりにし、微力であっても自分ができることを続けていこうと決心しました。